

## チャレコミ・ギャザリング 2020 春レポート

一般社団法人わくわくスイッチ インターン生

三重大学 3年 久保 圭太郎

### はじめに

ギャザリングは、全国中のチャレンジコミュニティの中でも地域の最先端で活動されている方々が来る場所だという話を事前に聞き、とてもわくわくとした気持ちで参加しました。

今回はオンラインでの開催ということで、うまく話しに入れるか緊張しながら参加しましたが、とても温かく迎え入れていただけた感覚がとてもありました。

### 分科会第1ターム

僕は、分科会第1タームは、スペース5の「地域金融機関とコーディネート機関の連携の在り方」に参加していました。

地域金融機関との連携は、漠然とした連携では連携にならず、コーディネート機関と地域金融機関の相互理解や場づくり、関係性の構築がないと難しいということが良くわかりました。

地域金融機関との連携は、今まで考えたこともなかったため、どういう形で三重に持って帰ることができるのかを考えます。

### 分科会第2ターム

第2タームは、スペース9の「地方はオンラインの波をどう乗り越えます？」に参加しました。

今日、日本全国、進行度の違いはあるものの、同じくオンライン化の波は高まっています。そんな中、あえて、オンライン化だけではできないことについて話ができただけでも有意義でした。自分が意見として出した、「オンラインでできないと思っていることの本質の要素とは何なのか？」という内容を取り上げていただき、全体ディスカッションで深掘りして頂いたのは、自分にとって、今後の発言への自信につながりました。

### 最後に

ETICの皆様、スカラーシップ生としてギャザリングに参加させていただき、ありがとうございました。うまく運営面でお役に立てたかという点、むしろ足を引っ張ってしまったことが多かったと思います。しかし、僕個人としては、全国のコーディネーターの皆様とお話することができて、視野が広がりました。

これからも地域の最先端で尽力したいと思います。今回は本当にありがとうございました。